

第2号

定価一年間300円
組合員の購読料は
組合費に含む



発行

檜山教職員組合

〒043-0056 江差町字陣屋町 86-1
Tel 0139(52)0858 FAX(52)1490
発行責任者 石橋英敏
E-mail: hiyamakyoso@proof.ocn.ne.jp

自民改憲条文(9条関係)

9条の2 前条(現行9条※本紙注記)の規定は、我が国の平和と独立を守り、国及び国民の安全を保つために必要な自衛の措置をとることを妨げず、そのための実力組織として、法律の定めるところにより、内閣の首長たる内閣総理大臣を最高の指揮監督者とする自衛隊を保持する。
2 自衛隊の行動は、法律の定めるところにより、国会の承認その他の統制に服する。

現行「日本国憲法」

第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

一点でつながろう全国統一署名

異常な国会運営が正されぬまま憲法9条を標的にした改憲論議が前のめりにすすまれています。これまでに



子どもたちに平和な未来を

明らかにされた改憲案では、新たに条文を追加し「自衛の措置をとることを妨げず」として、現行の9条を空文化してしまう内容になっています(別項参照)。
安倍首相や自民改憲本部は、「自衛隊を明記するだけで何も変わらない」と説明しますが、後法優先の原則から、実質的に条文案「9条の2」が独り歩きし、「自衛の措置」と(時の政権が)認めれば運用が際限なく拡大されていくこととなります。
事実、自民改憲本部の幹部は、テレビ記者の「無制限に拡大されていくのではないかと」との指摘に、「我々の目が黒いうちはそうさせない」と回答。「後のことは知りませんと」と言うに等しく、「語るに落ちる」話です。すでに強行成立された安全保障法制によって他国の戦争に組み込まれる仕組みができあがっています。何も変わらないどころか、海外の戦争に歯止めなく加担させられていく道が堂々と開かれていくことを意味します。
さらに重大なことは、自衛隊

が憲法に位置付けられることで「徴兵制」への門が開けられる危険があることです。
現行憲法の下で自衛隊への強制入隊が認められないのは、それが「苦役」にあたるからです(憲法13条、18条)。しかし、自衛隊が9条に明記されれば、自衛隊の役務が憲法上の公共性を有し、「公共の福祉」に反しないと解され、「徴兵制」も可能となります。さらには、同様の解釈から基地建設も公共の事業となり、土地の強制収用も合憲となり、米軍による使用もフリーになる懸念があります。
このように憲法9条の改憲が思惑通りに進められれば、日本は平和国家でなく「戦争ができる国」「戦争をする国」へと重大な変質を遂げてしまいます。世界的にも、戦争や暴力を根絶し対話と協調の国際社会をめざす方向が大道となっており、平和憲法の変質は、歴史の逆行でしかありません。
子どもたちに平和な未来を引き渡すことの意識的な営みはいよいよ切実で重要です。
隠蔽、改ざん、虚偽答弁、癒着、私物化、人権侵害、政治の腐敗が底なしの状態です。個別の授業に対する教育への不当な介入も強まっています。こうした中で9条改憲の企ては、いっそう許されません。安倍政権が反対しています(朝日新聞5月1日調査)。「全国市民アクション」

が呼びかける「安倍9条改憲NO! 憲法を生活に生かす全国統一署名」が1350万人を超えます(4月20日現在)。6月12日の衆参両院への提出に向け、全国各地でさらにとりくみが広がっています。檜山管内でも随所で展開されています。

安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名

2017年5月3日、安倍晋三首相は突然、「新たな憲法9条に自衛隊の存在を書きこむ」「2020年に新憲法施行をめざす」と述べました。この発言を受けて、改憲への動きが急速に強まっています。

戦後70年以上にわたって、日本が海外で戦争をしてこなかった大きな力は憲法9条の存在と市民の粘り強い運動でした。いま、9条を変えたり、新たな文言を付け加えたりする必要は全くありません。私たちは、日本がふたたび海外で「戦争する国」になるのはゴメンです。

私たちは、安倍首相らによる憲法9条などの改憲に反対し、日本国憲法の民主主義、基本的人権の尊重、平和主義の諸原則が生かされる政治を求めます。

請願事項

- 1. 憲法9条を変えないください。
- 2. 憲法の平和・人権・民主主義が生かされる政治を実現してください。

氏名	住所

呼びかけ団体 安倍9条改憲NO! 全国市民アクション

最寄りの組合員か檜山教職員組合事務所がいつでも対応します。「私も署名を」とぜひ声をかけください。



なくそう! 核兵器

北海道日本海南コース

- せたな集會行進 5/29火18:00
せたな町民ふれあいプラザ駐車場
- 江差集會行進 5/30水18:00
江差町東本願寺前広場(いにしえ街道)



2018 松山教職員の集い
in 厚沢部がむし温泉

スイーツ頼張り、語り合って共感

「悩み聞いてもらってスッキリしました」



「初めて会う先生がいても思っていることを話すことができ、温かい場話をして聞いていただきスツキリし、がんばろうとする気持ちになります」

「特別支援教育分科会」には7名が参加、ここでも日頃の思いや悩みが交流されました。初参加の中学校教諭のKさんは、「中学三年を担任しているので、高校の話を開けてとてもありがたかった」と感想を発表しました。小学校教諭のMさんも「進路(高等養護)のことが勉強になりました」と述べます。

4月28日、厚沢部町俄虫温泉で今年度の「松山教職員の集い」が開催されました。管内各地と渡島から32名が集い、日常の様子や悩みを大いに語り合いました。「スツキリした」という声がたくさん出されました。

フリートークで交流する「古今東西老若男女分科会」には18名が参加、2つのグループに分かれて、思いの丈を語り合いました。

「ふだん、自分の考えていることが、この時代に合っているのか?と自信がなくなることが増えた気がします。そのなかで、

「養護教諭分科会」には5名が参加し、心ゆくまで話し合いが行われました。子どもの健康や生活のこと、保健指導や保健室運営のこと、学校運営や職場づくりなど多様なテーマが話題となりました。

運営担当の十河久美子さん(厚沢部中)は、一人職種という養護教諭の立場を念頭に、「職場同僚との関係を耕すことほもちろん、学校を超えてつながりあうことがとても切実な課題」と訴えました。

夕食交流会には17名が集い、旬の食材を使った温泉宿のご馳走に舌鼓を打ち合いながら、親交を深めました。

「命と尊厳を守るろう」の声をあげました。江差集会には90人が参加、松山教組江差支部書記長の大石準さんが主催者を代表してあいさつしました(別掲)。



せたな集会の参加者

第89回メーデー

第89回メーデーが5月1日、全国一斉に行われました。松山でもせたな町と江差町の2会場で開催され、110人程が参加しました。

現状やとりくみについて発言がありました。集会宣言を確認した後、「命と尊厳を守るろう」と訴えながら町内を行進しました。プラカードコンクールでは退職教職員の会が第一位に輝きました。

道行く人や沿道の住民から声援が寄せられました。



江差メーデーの行進

メーデー江差集會 大石準代表あいさつ要旨



メーデーの起源は、8時間労働を求めて労働者が立ち上がったことに始まります。1886年、アメリカでのことです。それから132年、「8時間労働制」は一応世界のスタンダードとなりましたが、現在の日本はどうでしょうか。政府与党は、過労死ラインを超える時間外労働にお墨付きを与える法律まで作ろうとしています。すでに、長時間で過重な勤務の上、パワーハラスメントにさらされながら命を落とす労働者・勤労者が後を断ちません。

私たち教育労働者も、過酷な勤務状況に置かれています。他県の事例ですが、新採用1年目にして、一月160時間以上にもなる時間外を働き続け、あげくに管理的な圧力を受け、ついには自らの命を絶った27歳の先生がいます。最後の日記にはこう記されていました。「疲れました。迷惑をかけてしまい、すいません」と。

死ぬまで追い詰められ、働く必要はどこにあるのでしょうか。子どもの命を育む教育の現場で、自らの命を滅ぼさなければならない働き方が許されていていいのでしょうか。私は、強い憤りを覚えます。

メーデーにこうして集った私たちは、まず何より、命と健康、生活と生業を守りながら、誰もが人間らしく働き、尊厳をもって生きていけるような社会をめざしていこうではありませんか。

一人ひとりのかけがえのない人生を、自分らしく生きていける、そんな地域と職場、そして社会をめざし、連帯を深めていきましょう。



うれしいとき、かなしいときにあなたを応援します。

総合共済

月々600円

- 結婚祝金に10,000円
- 出産祝金で5,000円
- 災害見舞金に10万円(全壊)など他にもいろいろ

さらに退職時には掛金が全額戻ります!

資料をお求めの方は松山教職員組合へお気軽にどうぞ